



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development



地球サミット リオ+20の歩き方

リオから始める、地球市民、グリーンエコノミー

Rio+20
earth 2012
地球サミット2012 Japan



この冊子は、平成23年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しました。

CONTENTS

- ・ 1992年、リオの挑戦。
- ・ 2012年6月、再び世界はリオへ集う。
- ・ リオ+20の開催日程、会場マップ
- ・ リオ+20での様々なイベント・エキシビジョン
- ・ 企業としてのリオ+20の活用法
- ・ 参加にあたってのチェックポイント
- ・ もっと知りたい方へ
- ・ 地球サミット 2012Japan から3つのお誘い

地球サミット・リオ+20の歩き方

発行日：2011年12月

発行：地球サミット 2012Japan、イースクエア株式会社

編集：地球サミット 2012Japan

住所：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 1F GEOC 内

一般社団法人環境パートナーシップ会議・地球サミット 2012Japan 事務局

問合せ： contact@earthsummit2012.jp





1992年、地球サミットの会議風景。

1992年、リオの挑戦。

地球サミットとは、10年に一度、世界各国のリーダー達が一堂に会し、地球の未来について話し合う、国連最大級の会議です。

地球サミットの歴史は、1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された、いわゆる“リオの地球サミット”に遡ります。この会議は、その後の人類の環境や貧困への取り組みに、非常に大きな影響を与えました。

例えば、「気候変動枠組条約」や「生物多様性条約」といった現在の環境政策の基本枠組みは、まさにここから始まりました。また、いわゆる「持続可能な発展」の達成が、世界170カ国の首脳の誓いのもと、人類最大の課題として認識されましたのもこの時です。

1992年のリオで、人類は持続可能な世界に向けた大きな挑戦への舵を切ったのです。

地球サミット関連年表

- 1972年 ストックホルム 国連人間環境会議**
人間環境宣言の採択、国連環境計画（UNEP）の創設
（参考）「沈黙の春」（レイチェル・カーソン）1962
「成長の限界」（ローマ・クラブ）1972
- 1992年 リオデジャネイロ 地球サミット
（環境と開発のための国連会議）**
環境と開発に関するリオ宣言、アジェンダ21
気候変動枠組条約、生物多様性条約への署名開始
森林原則
（参考）ブルントラント委員会報告書（1987）
- 2002年 ヨハネスブルグ 地球サミット
（持続可能な開発に関する世界首脳会議）**
持続可能な開発に関するヨハネスブルグ宣言
持続可能な開発に関する世界首脳会議実施計画
持続可能な開発のための教育の10年（ESD）



2012年6月、 再び世界はリオへ集う。

地球サミットから20年、同じリオで、
国連持続可能な開発会議——通称リオ+20が開催されます。

持続可能な発展に向けた再スタート

リオの地球サミットからまもなく20年。様々な変化が私たちに訪れました。グローバル化が進み、新興国が飛躍的な成長を遂げたほか、人々の環境意識が高まり、エコ製品が広く普及しました。

しかし一方で、依然として5秒に一人子どもが餓死し、年に4万の生物種が失われています。この20年間だけで、アルゼンチンの国土を上回る森林が失われました。

リオ+20は、20年間の地球と人類の歩みを総括し、持続可能な発展に向けた新たなスタートを切る大切な会議です。

グリーンエコノミーが主要テーマに

リオ+20では、主要テーマとして、1) 持続可能な発展と貧困解消の文脈におけるグリーンエコノミー、2) 持続可能な発展のための制度枠組みの2つが挙げられています。

このうちグリーンエコノミーは、政策や経営のあらゆる側面に“グリーン”を統合し、人類の発展と地球環境の保全を両立していくための実践的な取り組みです。

すでに国際社会では、多くのイニシアティブが始まっています。リオ+20は、グリーンエコノミー時代の幕開けでもあります。

10万人が集う、国連最大級の会議

地球サミットは、政府だけでなく、企業、労働者、市民、女性、先住民、若者、農家、科学者、自治体にも開かれており、これらステークホルダーのキーパーソンが世界中から集結します。期間中は、総勢10万人を超える来場者が予想されるほか、世界中のメディアの報道、さらにインターネットからもグローバルな参加が見込まれます。

特に、地球規模課題の解決におけるビジネスセクターの役割は重視されており、環境技術に興味がある世界の政府や企業、NGOとのビジネスマッチングの機会が期待できます。





ポートエリア
展示・イベント
NGO 会場

キンタ・ダ・ボアビスタ
展示・イベント NGO 会場 (予備)

フラメンゴ会場
展示・イベント
NGO 会場

リオセントロ会議展示センター
(メイン会場)

アリーナ・ダ・パッサ
(HSBC アリーナ)
展示・イベント会場

パルケ・ドス・アトレタス
展示・イベント会場

アウトードロモ
展示・イベント会場

首脳向け宿舎

首脳向け宿舎

リオ+20 の開催日程 (予定)

- 6月3日 レジストレーション開始(現地)
- 6月13-15日 最終準備委員会
- 6月16-19日 テーマ別会合
- 6月20-22日 本会合

メイン会場のリオセントロ会議展示センターは、リオ市街地から西へタクシーで約1時間。1992年の地球サミットが開催された会場と同じ会場です。展示・イベント会場の一つであるパルケ・ドス・アトレタスも、メイン会場の近くにあります。

また、リオ市街地の近くのフラメンゴ及びポートエリアには、NGOによる展示・イベントスペースが設けられます。

リオ・デ・ジャネイロの概要

リオ・デ・ジャネイロは、ブラジル南東部に位置するリオ・デ・ジャネイロ州の州都。世界有数のメガシティであり、ブラジル最大の港湾都市です。人口は600万人を超え、国内ではサンパウロに次ぐ第2位です。2014年にはサッカーのワールドカップ、そして2016年にはリオ・デ・ジャネイロ・オリンピックが開催されます。世界的に有名なお祭りの一つであるリオのカーニバル（謝肉祭）の開催地としても有名です。

- 言語 : 英語 (会場内)、ポルトガル語 (リオ市内)
- 安全情報 : 在リオ日本総領事館は、“外国人観光客を狙った犯罪が昼夜を問わず発生しており、安全には特に留意して、楽しい旅行にして下さい”と注意を呼び掛けています。特に、街の各地域に形成されている多数のファベラ（低所得者層の集団密集地）では注意が必要です。
- 生活情報 : ブラジルの水道水の飲用はできません。
- 通貨 : 1リアル=40~50円程度
- 移動時間 : 片道28時間 時差 : 日本時間の-12時間
- ビザ取得 : 入国理由に関わらず、ビザの取得が必要です。申請はブラジル総領事館で行い、発行に10日程度かかります。



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development

リオ+20 での様々なイベント・エキシビジョン



フューチャー・ウィ・ウォント

国連が2011年11月に立ち上げた、リオ+20に向けたインタラクティブなグローバル・イニシアティブ。リオ+20から20年後の未来の姿をテーマに、世界から寄せられたビジョンやアイデアが、テキストや映像を通じ可視化されます。リオ+20本番でも大規模なエキシビジョンの展開が予想されます。

世界市民の地球サミット

ピープルズ・サミット

ブラジルの市民社会がオーガナイズする、「市民の地球サミット」。世界中から様々な人種、宗教、民族の市民が集まり、オルタナティブな解決策を模索するとともに、10年に一度の地球の祭典を祝います。



※ピープルズ・サミットの今後の展開にご関心のある方は、地球サミット2012Japanまでお問い合わせください。

日本政府によるサイドイベント

「ジャパン・グリーン・イノベーションと世界の絆（仮）」

日時：2012年6月13日～22日 形式：エコ方式のパビリオン設置（予定）

震災からの力強い復興と再生、環境・経済・社会の調和に向けた我が国の取組、グリーンイノベーション、高い技術力をアピールします。世界のグリーン経済の移行と深い絆で結ばれた持続可能な世界の実現において我が国が積極的に貢献できるとのメッセージを発信します。

未曾有の困難を越え、私たちが描く未来が、世界を変えていく。

ジャパンボイス・プロジェクト

Japan VOICES は、全国の様々な人々の声（voice）の中から、私たち自らが実現していく日本の未来の姿を描き出し、リオ+20を通じて世界に届けるプロジェクトです。

Japan VOICES
地球サミット2012Japan

3.11からはじまり、今も続く困難は、私たちの価値観を根底から揺さぶり続けています。そして、私たちがこの困難の中からどんな社会を築くのか、それを世界が見ています。私たちは、日本がかつて通ってきた道と、気づき始めた新しい豊かさのカタチとを、世界に伝え、問いかけなければいけません。私たちの声に耳を傾ける人々と手を取り合い、100億人が分かち合って生きる、持続可能で平和な未来を築いていくために。

有名無名さまざまな人々から集められた voice は、映像・ウェブ・eBookなどの形で可視化され、リオから世界に届けられます。

地球サミット2012Japanでは、Japan VOICESにご協力いただける企業を探しています。（冊子裏面をご参照ください）。

今後、グリーンエコノミーで成長を考える企業がリオ+20へ参加する3つの理由。

1. 次の20年の地球構想が描かれ合意される
2. 未来に関わる世界のキーパーソンが集う機会
3. 新興国/途上国へのアクセスとアピール

リオ+20は、未来に関するビジョンを打ち出し、
提案・テストマーケティング・提携を行う最良の場のひとつ。

良い参加の方法

1. 正しい情報に基づき最高のチームを組んで参加する
2. 海外政府とNGOにトップメッセージを届ける
3. 今後の約束を取り付ける

悪い参加の方法

1. 環境展示会のつもりで参加する
2. 製品・宣伝・CSRの現場のみで対応する
3. 技術優位性のみを謳う

企業としてのリオ+20の活用法

環境分野のトップとネットワーク

環境対策に取り組んでいる各国の産官学の関係者の最新の環境技術や製品に対する関心が高まる中、世界各国の政府要人や学会、環境先進企業のトップなどが多数来場する本イベントでは、最新の環境技術・製品・サービス等を紹介し、最新の環境ビジネス情報やトレンドについての意見交換・情報交換の場となります。

ニーズとソリューションのマッチング

製造業や小売業、サービス業等、幅広い業態・業種の企業・団体へ参加する窓口は開かれています。高成長が続くブラジル、インド、中国企業をはじめ、様々な企業・団体とのビジネスマッチングの機会となります。

世界に向けたCSRの発信

グローバル経済の衰退、食糧危機や気候変動による世界各地の被害、貧困問題などから、世界各国からグリーン産業は更に注目を集めており、地球サミットの場において貴社の「環境ブランド戦略」を世界に向けて発信することは有意義かつ効果的です。本国際会議を貴社のCSR活動の一環として組み込むことができます。



もっと使える地球サミット

参加に当たってのチェックポイント

ISO26000 をもっと理解する

2010年秋に発行された、社会的責任に関するガイドライン ISO26000 は、グローバル課題を網羅的、体系的に整理しているものの、具体的にどう活用できるか、何をやるべきかについて悩んでいる担当者もたくさんいます。リオ+20において、世界各国の様々なステークホルダーから、課題や解決案についての生の声を聞くことで、より臨場感を持って ISO26000 の理解を深めていくことができます。

BOP ビジネスの示唆を得る

新たな市場機会やイノベーション創出の可能性として関心が高まる BOP※ビジネス。貧困根絶のための「グリーンエコノミー」という位置づけでもあることから、BOP ビジネスの先進事例情報や製品やサービスなどが多く集まると考えられています。世界経済をけん引する新興国、途上国での自社の商品、サービスの事業機会の示唆につなげることができます。

※BOP ビジネスとは？

Bottom/Base of the Pyramid の略で、世界の経済ピラミッドの底辺に属する、年間所得 3,000 ドル未満の収入で生計を立てる低所得者層を指します。現在、世界人口の約 40 億人が該当し、市場規模はおおよそ 5 兆ドルに上ると試算されています。

自社のグローバルコミュニケーションに不足しているものを発見する

環境対応や CSR 活動に真摯に取り組む日本企業に大きく欠けているとされているのがグローバルでの情報発信力とコミュニケーション力です。リオ+20での情報発信やステークホルダーとの対話から得られるフィードバックを通じて、グローバル社会に訴え、理解を得るために不足している自社のコミュニケーション要素を発見することができます。

リオ+20 に向けた世界の企業の動き

2010年10月、リオ+20で「ビジネスと産業」グループのディスカッションの調整役を担う団体 Business Action for Sustainable Development 2012 (BASD 2012)が、持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)、国際商工会議所、国連グローバル・コンパクトにより発足しました。6,510社(日本企業302社)が加盟する国連グローバル・コンパクトは、2011年11月1日にリオ+20の成果文書へのインプットを国連事務局に提出し、産業界が持続可能な発展に積極的に貢献できるよう、各国政府に対して企業の社会的責任活動の推進を支援するインセンティブや環境の整備を求めています。国連グローバル・コンパクトは、2012年6月のリオ+20開催地で、企業が政府や市民社会、国連団体の代表者などと、多岐に渡るテーマ(エネルギーと気候変動、農業と食糧、水、生物多様性、社会開発、ガバナンスなど)について議論できる場を準備する予定です。

もっと知りたい方へ・・・。

日本政府の提言や政府主催サイドイベントについて

外務省

リオ+20の成果文書に向けた日本政府の提案では、地球環境の保全や貧困の削減を目指し、持続可能な成長を達成するためには、新興国や民間部門にも課題解決に向けた役割を担うよう求めるとともに、グリーンエコノミーへの移行を訴えています。また、世界の発展と豊かさの基準として国内総生産（GDP）に代わる、心身の健康や人の関係を考慮に入れた「幸福度」の指標を設けることなどを主張しています。サイドイベントでは、「ジャパン・グリーン・イノベーションと世界の絆（仮）」と称して、震災からの復興や高い技術力を世界にアピールします。

窓口：外務省国際協力局地球環境課

リオ+20国内準備委員会の活動について

リオ+20国内準備委員会

リオ+20に向けた対話を進めるため、関心を有するステークホルダーが自発的に集まり、2011年7月に設置されました。委員会では、リオ+20に関するステークホルダー間の情報共有や意見交換、リオ+20に関するワークショップの企画・立案などの活動を実施するほか、ワークショップにおける意見に基づき、リオ+20国内準備委員会としての意見・提言を取りまとめ、リオ+20事務局に提出しました。

事務局：株式会社三菱総合研究所

グリーンエコノミーに関する情報収集・戦略・発信について

グリーンエコノミー・ジャパン



グリーンエコノミー・ジャパンは、リオ+20の主要テーマの一つである「グリーンエコノミー」について、日本企業としての考察を深め、世界や各国企業の潮流に乗り遅れることなく、その推進に向けた活動、情報発信、ネットワーキングを行うためのプラットフォームとして設立されています。リオ+20という機会を活かし、日本の企業の次なるCSR活動の発展に向けた検討、グローバル文脈での自社CSRの強みや特徴の整理、国内外のステークホルダーとの対話づくりをサポートするために、セミナーやガイダンス・ペーパーの発行を行っています。

Web：<http://greeneconomyjapan.com>

部局：グリーンエコノミー・ジャパン事務局（イースクエア株式会社内）

担当者：田村賢一、今中由希子

電話：03-5777-6730

Japan VOICES、市民との連携、ピープルズ・サミットについて

地球サミット 2012Japan



地球サミット 2012Japanは、リオ+20に向け、一般社団法人環境パートナーシップ会議が運営する非営利のネットワークです。リオ+20への参加や発信を通じ、持続可能な社会の構築に貢献します。メンバーは、NGO、若手官僚、社会起業家、研究者、シンクタンク、企業、学生などから構成され、リオ+20に向けた政策分析や提言活動、各種のイベントやセミナーの開催等を行っています。また、メディア、企業、国際機関、NGO・NPO、ホスト国ブラジルの市民社会など、リオ+20に関係する多くの団体とのネットワークを有しています。

Web：<http://earthsummit2012.jp>

お問合せ：contact@earthsummit2012.jp



RIO+20
United Nations Conference
on Sustainable Development

地球サミット 2012Japan から 3 つのお誘い

地球サミットについて学ぼう。

「地球サミット連続セミナー・Road to Rio+20」へのご参加

地球サミット 2012Japan では、世界銀行などとともに、地球サミットに関連した様々なトピックについてのセミナーを開催しています。1 月以降は、国連での成果文書交渉など、リオ本番に向けた様々な動きにフォーカスを当てていきます。

会 場 : 世界銀行情報センター (PIC 東京)

ウェブ : <http://earthsummit2012.jp/roadtorio>

セミナー参加のお問合せ : contact@earthsummit2012.jp

地球について対話しよう。

「アースダイアログ」とのタイアップ・イベントの開催など

私たちはみんな地球に暮らす一員であり、誰もが自分の住む地球について何かを感じています。それをコトバにしていく場が「アースダイアログ」です。映画『セヴァンの地球のなおい方』とのタイアップなどを通じ、全国各地でさまざまな対話が生まれはじめています。社員やステークホルダーの皆様と一っしょに、地球の未来への自社との関わりについて考える時間をもってみませんか？

ウェブ : <http://earthdialog.org>

タイアップ・イベント等お問合せ : contact@earthdialog.org

世界に“声”を届けよう。

Japan VOICES へのご協力、スポンサーシップのお願い

未曾有の困難を乗り越え、今、動き出した日本の声、日本が描く未来を、世界のリーダーや市民に届けます (英語/日本語)。持続可能な未来に向けたシフトのための、御社のコミットメント、そして、ビジョンとアイデアをお寄せ下さい。また、リオ当日のエキシビジョン等について、御社のご賛同とご協力をお願いいたします。

ウェブ : <http://japanvoices.jp>

スポンサーシップ等お問合せ : contact@japanvoices.jp

